

令和6年度 第2回

広島県電子部品・デバイス・電子回路、 電気機械器具、情報通信機械器具製造業 最低賃金専門部会 別冊資料目次

別冊資料
No. 1

第1回広島県電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信
機械器具製造業最低賃金専門部会議事要旨

P. 1

広島地方最低賃金審議会
第1回 広島県電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、
情報通信機械器具製造業最低賃金専門部会議事要旨

開催日時	令和6年9月30日（月） 16時00分～17時00分		
開始場所	広島合同庁舎2号館6階7号会議室		
出席状況	公益を代表する委員 労働者を代表する委員 使用者を代表する委員	出席 3 人 出席 2 人 出席 3 人	定数 3 人 定数 3 人 定数 3 人
主要議題	1 部会長及び部会長代理の選出について 2 広島県電子部品等製造業最低賃金の改正決定について 3 その他		
議 事 要 旨			
1 部会長及び部会長代理の選出について 部会長に岡田委員、部会長代理に中原委員が選出された。			
2 広島県電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業 最低賃金の改正決定について 部会長から労働者代表委員及び使用者代表委員に対し、電子部品等製造業最低賃金の改正について、意見表明が求められた。 労働者代表委員からは、「当産業は大手から中小まで裾野の広い構造にあり、他の産業と比較して賃金格差も大きい。そのため、本特定最賃は従事する労働者のセーフティーネットとなっている。またここ数年は、広島県のお他産業に比べて引上額が優位にあり、他産業との格差是正に繋がっている。当産業を取り巻く環境は、ビッグデータの活用域の拡大、人工知能の急速な発展により新たな価値が創出されている。しかし、広島県における電機産業のポジショニングは未だ他産業より低く、他産業、他地域への人材流出が懸念されるため、優秀な人材確保の観点からも、最低賃金引上げの取組が必要であり、広島県のお他業種よりも優位に結審したい。日銀の景況感において、電気機械は高水準の評価をされている。また、電気機械の鉾工業生産は、ここ数年指数が100を下回ることなく、広島県のお他産業よりウエイトが高い。今後、広島県における電気機械産業の魅力を高めていかないと先が見えなくなる。」との意見が表明された。 使用者代表委員からは、「労働者側及び各県の状況を知りたい。労働者側の意見で引用されたデータは現場の実際の状況とは真反対であり、あまりにも乖離している。実際は、仕事がまさに潮が引くように全て海外に流れており、使用者側委員が所属する会社においても1工場を閉鎖した。物価、人件費が高く競争ができない。データはあくまで一部景気の良い企業の平均値が出ている。実際は非常に厳しい。」との意見が表明された。 その後、労働者側から「連合広島の春闘における全体の引上げ率6.04%を現在の最低賃金額995円に乗じて1,055円、60円の引上げを提示する。」との金額提示がなされた。 使用者側から金額提示はされなかった。 次回に審議を持ち越すこととなった。			

3 その他

今後の審議会の日程調整が行われた。

第2回 広島県電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業最低賃金専門部会

日時 10月15日（火）午前10時00分～ 会場 合同庁舎3号館1階15号会議室

主な議題 広島県電子部品等製造業最低賃金の改正決定について